## 「鹿児島県測量・建設コンサルタント等業務指名競争入札参加者等の 指名基準等に関する要綱」の運用指針

令和7年5月29日 鹿児島県土木部監理課

「鹿児島県測量・建設コンサルタント等業務指名競争入札参加者等の指名基準等に関する要綱」(以下「指名要綱」という。)については、当分の間、次のとおり運用します。

#### 1 適用範囲

本運用指針は、「鹿児島県測量・建設コンサルタント等業務指名競争入札参加資格審査要綱」の業務のうち、土木部(商工労働水産部漁港漁場課を含む。以下同じ。)が所管する土木関係建設コンサルタント業務及び地質調査業務に適用します。

#### 2 指名の基本的考え

- (1) 原則として県内に本店を有する業者(以下「県内業者」という。)を指名します。
- (2) 県内業者の指名に当たっては、業務に必要な有資格者数など、技術力を重視して指名を行います。
  - なお、業務の内容によっては、地域性を考慮して指名を行います。
- (3) 特に、高度な技術力を要する業務については、当該業務の実績を有する県内業者及 び県外に本店を有する業者(以下「県外業者」という。)を指名することとし、県外 業者については、県内に営業所を有する業者を優先的に指名します。

## 3 指名の手順

- (1) 過去3年間に土木部所管の土木関係建設コンサルタント業務又は地質調査業務における指名実績があった業者を選定します。
- (2) (1)で選定した業者ごとに土木関係建設コンサルタント業務(県内)は,実績高,一人当たりの完工高,自己資本額,経営比率,外注比率,有資格者数,業務成績,表彰を土木関係建設コンサルタント業務(県外)及び地質調査業務は,実績高,自己資本額,有資格者数,営業年数を基に算定した総合点数に従い選定表を作成します。
- (3) 橋梁,港湾・漁港構造物設計及び地すべり対策等については、専門分野の有資格者の保有状況や同種業務の実績を勘案し、別紙-1の要件を満たす業者を選定します。
- (4) 各地域振興局,各支庁(支所,事務所を含む。)(以下「振興局等」という。)は, 選定表を基に,振興局等ごとにそれぞれの実績等を考慮した指名候補者リストを作成 します。
- (5) 土木関係建設コンサルタント業務においては、(4)の指名候補者リストに記載の業者のうち県内業者について、(1)の総合点数の上位順に、A、B、C の 3 グループに区分します。【A  $\cdot$  B グループ(A  $\cdot$  A  $\cdot$  A
- (6) 原則として、別紙-3において業務の難易度の区分ごとに定める指名グループの中から、指名要綱別表(第2条関係)の3において設計金額の区分ごとに定める業者数を指名します。

#### 4 その他

- (1) 振興局等は、選定表に掲載されていない業者については、管内の公共事業(国、県、市町村及び公社・公団等の事業)の業務実績などを勘案して、入札契約手続運営委員会の審議を経て指名候補者リストに追加できることとしています。
- (2) 本運用は、令和7年6月1日以降に指名通知を行う業務に適用します。
- (3) 選定表及び指名候補者リストについては、毎年、更新を行います。

	別紙-1(1/2)
業務種別	選定要件
橋梁	橋梁については、設計に高度な技術力を要するため、橋長により、要件を区分する。
	1. 橋長20m以上50m未満 下記「2. 橋長50m以上」の要件を満足している者,又は,次の①から④の条件を満足するもの ①建設コンサルタントの登録をしている。 ②県内に本店を有している。 ③「鋼構造及びコンクリート」又は「道路」の技術士を有しているか「鋼構造及びコンクリート」のRCCMを有している。 ④過去10年間に幅員4m以上の新設橋梁(歩道橋は含まない)の実績(県内の県及び市町村事業)を複数有している。
	<ul><li>2. 橋長50m以上</li><li>①建設コンサルタントの登録をしている。</li><li>②「鋼構造及びコンクリート」の技術士を有しているか,「道路」の技術士及び「鋼構造及びコンクリート」のRCCMを有している。</li></ul>
	③九州内での過去10年間に幅員4m以上で橋長30mを超える 新設橋梁(歩道橋は含まない)の実績(国,県,市町村事業及 び鹿児島県道路公社並びに西日本高速道路株式会社の事業)を 有している(県外は複数実績)。 ④県外に本店を有するものについては,県内に営業所を有し,② に示した有資格者を相当数有すること。
	なお,地形の状況,その他特別の理由により,特殊な橋梁が想定 される場合は,別途,事業主務課と協議する。
港湾・漁港構造 物	港湾・漁港構造物の設計のうち、波浪推算・解析により波の特性を 把握した上で行う外郭施設や係留施設等の設計については、高度な技 術力を要するため、
	1. 波浪推算を伴うもの ①建設コンサルタントの登録をしている。 ②「港湾」の技術士又は「港湾」のRCCMを有している。 ③過去10年間に波浪推算・解析等を伴う港湾・漁港構造物の設計実績(県内の県及び市町村事業)を複数有していること,又は県外において相当な実績を有している。波浪推算・解析等の実績と港湾・漁港構造物の設計実績については、別々の案件でも構わない。(県外業者による県外の実績については、別々の案件でも構わない。(県外業者による県外の実績については適用外)ただし、設計実績については、波浪推算・解析を用いた設計であること。なお、県外において相当な実績を有する業者の選定に当たっては、別途、事業主務課と協議する。
	2. 波浪推算を伴わない係留施設等 上記1または、次のいずれかの条件を満足するもの。 ①過去10年間に波浪推算を伴わない港湾・漁港構造物設計の実 績を複数有している。 ②橋長50m以上の橋梁設計業務の選定要件を満たしている。

	刀 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
業務種別	選定要件
地すべり対策(調査を含む)	① 建設コンサルタントの登録をしている。 ② 「土質・基礎」又は「地質」の技術士を有しているか、「土質・基礎」又は「地質」のRCCMを有している。 ③ 過去10年間に地すべり対策事業の調査、設計の実績(県内の県及び市町村事業)を有している。 なお、地すべり対策事業の全体計画策定や地すべり機構の解析を踏まえた観測位置の決定など、特に高度な技術力を要する場合は、事業主務課と協議する。
大規模施設等	トンネル、水門・堰、ダム、空港地域高規格道路(概略・予備設計)、河川計画、港湾計画策定等これらについては、主に、県外大手コンサルタントに委託されているが、特殊業務であり、その都度、事業主務課と協議する。

### 別表

別表		
業種区分	有 資	格者
土木関係建設	【照査技術者等に必要な資格】	
コンサルタン	技術士(技術士法(昭和58年))	・RCCM(社団法人建設コンサルタンツ協会)
ト業務(県内)	・建設部門 (鉄道を除く)	左記(技術士)各部門及び造園に
	·農業部門(選択科目:農業土木)	限る。
	・森林部門 (選択科目:森林土木)	・土木学会認定土木技術者(2級除く)
	·水産部門(選択科目:水産土木)	・1級土木施工管理(建設業法)
	・応用理学部門(選択科目:地質)	·公共工事品質確保技術者
	・総合技術監理部門(上記各部門)	・測量士 (測量法)
	【保有資格】	
	・技術者保有資格一覧に示す資格(照	発査技術者等に必要な資格を除く)
土木関係建設	技術士(技術士法(昭和58年))	・RCCM(社団法人建設コンサルタンツ協会)
コンサルタン	・建設部門(鉄道を除く)	左記(技術士)各部門及び造園に
ト業務(県外)	·農業部門(選択科目:農業土木)	限る。
	・森林部門 (選択科目:森林土木)	・1級土木施工管理(建設業法)
	·水産部門(選択科目:水産土木)	・測量士 (測量法)
	· 応用理学部門(選択科目:地質)	・コンクリート診断士
	・総合技術監理部門(上記各部門)	(公益社団法人日本コンクリート工学会)
		・コンクリート構造診断士
	同上	(公益社団法人プレストレストコンクリート工学会)
地質調査業務	技術士(技術士法(昭和58年))	・RCCM(社団法人建設コンサルタンツ協会)
	・建設部門(土質及び基礎に限る)	地質部門,土質及び基礎部門に限
	・応用理学部門(地質に限る)	る。
	・総合技術監理部門(上記各部門)	・一級さく井技能士(職業能力開発促進法)
		・地すべり防止工事士
		(-般財団法人 斜面防災対策技術協会)
		・地質情報管理士
		(組織全国地質調査業協会連合会)
		・地質調査技士
		(組織全国地質調査業協会連合会)

# 技術者保有資格一覧

#### 1 有資格者の数(延べ人数)

01一級建築土	02二級建築士	03 一級 土木施工管理技士	04 二級 土木 施工管理技士	05 測 量 士	06環境計量士	07 不 動 産 鑑 定 士	08 土地家屋調 査 士	09 技 術 士	10第一種電気 主 任 技 術 者	11 伝送交換主任技術者	12線路主任 技 術 者
13 R C C M	14一級さく井 技 能 士	15 地 す べ り 防 止 工 事 士	16 地質情報 管 理 士	17 地質調査 技 士	18 補 償 業 務 管 理 士	19 公 共 用 地経 験 者	20コンクリート 診 断 士	21コンクリー ト構造診断士	22土木学会認定 土 木 技 術 者 ( 二級 除く)	23 農業土木技術管理士	24畑地かんが い 技 士
25土地改良専門 技術 者	26土地改良補 償業務管理者	27建築基準適合判定資格者	28建築積算士	29建築設備士	30一級電気工 事施工管理 技 士	31二級電気工 事施工管理 技 土	32一級管工事 施工管理技士	33二級管工事施工管理技士	34構造設計一級建築士	35 設備設計一級建築士	36農業水利施設機能総合診断士
37 林業技士	38 技術士補	39 測量士補	40 前出以外 の国土交通省 登録技術者	41 公共工事 品質確保技術 者	01~41の計	42左記以外の 技 術 者				土木部資格保有者欄記入合計	

#### 2 技術士及びRCCMの内訳(延べ人数)

	01河川砂防海岸海洋	02港湾・空港	03電力土木	04 道 路	05 上水道・ 工 業 用 水	06 下 水 道	07農業土木	08森林土木	09 造 園	10都市・地方 計 画	11 地	質
技 術 士												
R C C M												
	12土質・基礎	13鋼構造コンク リート	14トンネル	15 施 工 計 画 施工設備積算	16 建 設 環 境	17 機 械(部門)	18 水産土木	19電気電子 (部門)	20 総合技術 監 理	合計		
技 術 士												
R C C M												

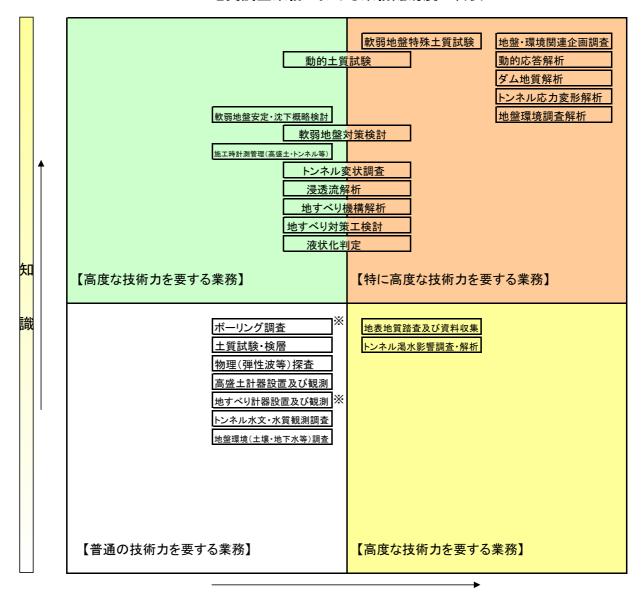
#### 3 土木学会認定 土木技術者資格の内訳(延べ人数) ※主分野と副分野がある場合は、2分野ともに計上

		01 鋼・コン クリート	02 地盤・ 基礎	03 流域· 都市		06 設計	07 施工・ マネジメン ト	08 メンテナンス	09 防災	10 環境	11 河川・ 流域	12 海岸・ 海洋	13 都市・ 地域	14 トンネル・ 地下	15 橋梁	16 調査・ 測量	17 マネシ゛メン ト	18 環境・ エネルギー	合計
特 別	上 級																		
上級	(A)																		
上級	(B)																		
1級	(A)																		
1級	(B)																		

#### 4 国土交通省登録資格の内訳(延べ人数を記載)

資格者数	海洋・港湾 造物維持管 上	02道路橋点検士 道路橋点検士補	031級・2級 構造物診断士	04土木鋼構造 診 断 士 診 断 士 補	05特定道守C 道 守 C 道 守 補 C	06プ レストレストコン クリート技士	071級ポンプ 施設管理技術 者	08公園施設点 検 管 理 士	09公園施設点 検 技 士	10砂防・急傾 斜管理技術者	11主任点検診 断 士 点検診断士
124	橋梁点検士	13インフラ調 査 士	14社会基盤メ ンテナンスエ キ ス パ ー ト	15土木設計技 士	16空港土木施 設点検評価技 士	17応用地形判 読士資格	18港湾海洋調 査士	19環境アセス メント士認定 資格	20登録ランド スケープアー キテクト	21交通工学研究会認定TOE	22港湾潜水技 士 1 級 · 2 級 · 3 級
資格者数 23 量 資格者数	31級水路測 技術	24下水道管路 管理主任技士	40 間条品快技	26都市道路構 造物点検技術 者							合計

### 地質調査業務における業務難易度の目安



### 構想力·応用力

※ ボーリングや計測機器の位置決定などを伴う地すべり調査については、特に高度な技術力を要する業務として取り扱う場合もある。

# 土木関係建設コンサルタント業務における業務難易度の目安

難易度	普通の技術力 を要する業務	高度な技術力 を要する業務	特に高度な技術力 を要する業務	備考(上乗せ)
河道計画・路線 設計	詳細・修正設計 道路予備設計修正 道路詳細設計 (A) (B) 平面交差点・ダイヤモンド型 I C詳細設計 歩道設計	平面交差点・ダイヤモンド型 I C予備設計 トランペット型・クローバー型 I C詳 細設計 休憩施設詳細設計 鉄道交差設計 舗装設計	概略設計計画 予備設計計画 道路概略設計(A)(B) 道路予備設計(A)(B) トランハ・ット型・クローハ・一型 I C 予 備設計 休憩施設予備設計	
構造物設計	物で中・難以外のもの	扶壁式擁壁等複雑なもの 共同溝(開削工法)予備設計 計シール・共同溝詳細設計 電線共同溝(CCbox)予備設計 ロックシェット・、スノーシェット・、スノーシェルター等 二連等複雑なボックス 橋梁架設工 仮設構造物詳細設計 横断地下道設計 横断歩道橋(形状難しい)	重要構造物概略·予備 橋梁予備設計 橋梁概略形式検討 橋梁一般図作成	現場制約が強く,特殊な工法,仮設計画 が必要なもの
付属施設設計	土木設計 擁壁・補強土(普通) U型擁壁 法面工(普通) パイプカルバート ボックスカルバート・箱型函渠	擁壁・補強士(高度) 法面工(高度) アーチ, 門型カルバート 門型ラーメン 植樹設計 標識・情報板配置設計		
河川工作物設計	樋門詳細設計 築堤・護岸設計 河川排水機場設計 砂防えん堤詳細設計(重力 式15m未満,鋼製) 流路工詳細設計 流木対策施設設計	砂防調査(流域特性調査,	河川排水機場設計(高度) 水門及び堰(中以外の複雑 なもの) 砂防調査(生産土砂量調 査,流送土砂量調査,経済 調査) 砂防計画	
橋梁上部工(メ タル詳細設計)	単純合成桁(H形, 鈑桁) 単純鋼桁(H形, 鈑桁) 単純トラス	単純箱桁 単純合成箱桁 鋼床版桁(鈑桁・箱桁) 連続桁(鈑桁・箱桁) 単純トラス ゲルバートラス ゲルバー桁 π型ラーメン	単純鋼床版桁(鈑桁,箱 桁) ランガー桁 ローゼ桁 アーチ桁 吊橋 斜張橋	長大橋で、風洞実験等の模型実験の必要なもの 構造解析が2次元でなく、3次元の計算の必要なもの 非対称、カーブの度合
橋梁上部工 (コンクリート詳細設計)	R C : 単純床版 単純T桁 単純中空床版 P C : 単純プ レテン I 桁 単純プ レテンホロー桁	R C:連続T桁 連続中空床版 連続ラートン P C:単純箱桁 単純中空床版 連続中空床版 単純ポステンT桁 連結ポステンT桁	RC: アーチ PC: 連続ポステンT桁 連続箱桁 連続ラーメン箱桁 斜材付き π型ラーメン 方杖ラーメン	がが強く、構造計算が複雑なもの 現場の制約条件があり、特殊な施工工法、仮設計画が必要なもの

# 土木関係建設コンサルタント業務における業務難易度の目安

難易度	普通の技術力 を要する業務	高度な技術力 を要する業務	特に高度な技術力 を要する業務	備考(上乗せ)
橋梁下部工詳細 設計	橋台:重力式 逆T式 橋脚:重力式 逆T式 張出式 柱式	橋台:扶壁式 ラール式 箱式 橋脚:ラールン式 SRC式 中空式		
基礎設計		地盤改良 横断歩道橋 場所打杭,既製杭	井筒 ケーソン 深礎杭 鋼管矢板ウェル	
解析業務	資料整理的な業務	下記のもので普通の技術力 を要するもの	下記のもので高度な技術力 を要するもの	全体に共通
		地域計画,道路網計画,交 (交通量推計),経済調査 水計画,地下河川生態系調 景観設計,沿道整備計画等 ソフトな検討・解析を行う 土質・地質の解析 測量調査	E,整備効果調査,総合治 B査,環境調査・影響評価, E	審議会・委員会(学を 書談会・表言と対外を 関ととすると、 関ととなると、 をで、のいるを をで、のいるで、 をで、のいるで、 をで、のいるで、 をで、、 を関いるで、 が少が手に、 がいるが、 がいが、

#### ◆令和X年度土木関係建設コンサルタント選定表(県内業者)

#### 土木関係建設コンサルタント選定表記載例

			実績	業務(◎)	希望業務	务(〇) 重	要構造物設計!						総	合点数(合	計)=:	2(A+A'	)+B+	C+D-	+2E+	2F+G-	-н																																
連番 許可	商号名称	商号名称 所在地 道路 河川 都市 港湾 橋梁 港灣 機梁 港灣 (注 1)						X	令和 ∹3年度	₹ X-2	和 年度	令和 X-1年度	隻 4	手間平均完	工高	技術者一	人当たり完	工高		É	己資本額	Ę			経営比	率(2か年	平均)		少	外注 数点第2	:比率 :位切り捨て		保有資格 01~416 資査技術者	の計				>						資格者数 8者の数」か					(建築 含物 少数	業務成績 (を除く土木部 (た) 発注業務の 点第第2位切り	適去75 漁港 (建築を開 含む)発	年間表彰実績 除く土木部(漁; 発注業務のみ)	* 合計
一二 番号		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	道路	砂防	計画	空港(注	主1)物	物 指:2) 指:	名 落札数 回数	指名	落札	指名 落回数 回	之 記 記 記 数	N年平均 エ高(ア) 千円)	点数 A	常勤技 - 術者数 り	人当た 完工高	点数 A' 2	総合点 2*(A+A')	2か年平5 自己資本 (イ)	自己資本回転率 ア/イ	点数 B	総資本 純利益 率	点数(ウ)	流動比率	点数(エ)	自己資本固定比率	//	合点 i)~ it) C	、年 外流 計 力 費	主比 点数率 D	土木部 資格化 有者相	部 点数 保	総合点 2×E	技術士 (ア)	RCCM (1)	学会認定 土木技術 者 2級除く (ウ)	1級土木 施工管理 技士 (エ)	公共工事 品質確保 技術者(オ)	則量士(力)	40未満技 40 術士(キ) RC	未満 会記	2定土 +	0未1級 40未 上木施工 工事 管理技士 確保 (コ) 者	<b>基品質 40</b> 5	未満測 *1+オ* *2.5+ ±(シ) *1.5+	*3+9*3+I *1+9*2+# *9*1.5+9 *3*0.5+9 5+9*1	点数 総 F 2	合点 <sup>2年</sup> ×F	平均 点 +数で除 点 す (2	数 マルを 記入	を点数、H	
1 ####	# 〇〇コンサルタント	口口市	0	0	0	0	0	5	0 10	60	10	70 2	20 2	60,000	25	30 8	,667	3.8	58	300,000	87	8.6	3.0	14.6	100.0	5.0	80.0	8.5	28.1 ###	### 1	19.2 10.	0 2	0 15.0	0 30.0	5	5	5	5	5	5	5	2	2	2	2	2	97.5	29.3 5	58.6 8	2.6 42	2.6 0	5	240.5
		注1) 橋梁の◎は橋長50m以上の要件を満たす業者 橋梁の○は橋長20m以上50m未満の要件を満たす											25	年平均完.	L高(A)	一人当たり	完工高(A	(') E		《新株予約· 回転率数値			総資本純和	1益率	流動比率	É	自己資本固	定比率	外注	比率(D)	)	保有資	資格者延っ	べ数(E)					$\overline{1}$				•			有資	格者数值	₫(F)	業務	务成績	表彰実	尾績(企業)	_

注2) 港湾漁港構造物の◎は波浪推算を伴う設計の要件を満たす業者 港湾漁港構造物の〇は波浪推算を伴わない設計の要件を満たす業

1千~5千万

25 5,000~9,999 1.1~4.9 **≦** 2億∼3億 50~99.9 5.1~9.9 20 5,000未満 1 15 (完工高-5,000)× 3.8/4,999+1.1 ※小数点 第2位切り捨て 1億~2億 1000以上 0.5未満 (利益率-0.5)× | Sax 50未満 1 (数値-50)×4.8/49.9+5.1 ※小数点第2 5千~1億

33.4~99.9 9.9~3.3 20~79 15~29.9 100 (33.3/外注率)×10 0 1~19 1~14.9 (有資格者数-20)×14.9/59+15 (33.3/外注率)×10 (有貨幣有数=20)×1+3-5/3=7 ※小数点第2位切り捨て (有資格者数=1)×13.9/18+1 ※小数点第2位切り捨て 上限を80

保有資格調べの「2 技術士及びRCCMの内訳」の01~20,「3 土木学会 認定 土木技術者資格の内訳」の01~18及び「1 有資格者の数」のうち 「05測量士」に該当する資格を有する者の延べ人数をそれぞれ記載

100~299.5 30~59.9 77~82.9 1~44.9 無(空欄) 1~99.5 | ~29.9 | 77未満 | (有資格書數-1)×28.9/98.5+1 ( 有資格書數-100)×29.9/199.5+30 | ×43.9/59.5 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | ×43.9/59 | (2年平均点-77) ×43.9/5.9+1 ※ 小数点第2位切 り捨て

◆令和X年度土木関係建設コンサルタント選定表(県外業者)

	許可番号	商号名称	営業所 所在地	呂未川		実終	責業務	(⊚)•≉	音望業務	膐(○)		重要構造	物設計実績	责 従業 員数	令和 X−3年度	×	令和 <-2年度	X-	令和 -1年度									総合	↑点数(合	計)=3	×A+E	3+5×	C+D								
連	<b>F</b>		77,1213	の有無	道路石	可川 者	都市 落	き湾 ニ	上質 釗	鋼構 トン	ノネ 建設ル 環境	橋梁 (注1)	港湾漁港構造物	*	指名 落	札 指:	名 落柞	1 指4	3 ■ 落札	し 2ケ年刊	均	匀実績高 点数		自己資本金	自己資本	額 点数 4	総合点	技術士	RCCM	1級土木	測量士	有資格者 コンクリート診	コンクリート標	(ア)×5+(イ+ウ	+ 点数	総合点	<b>一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一</b>	営業年数 点数	総合点	合計 順	頁位
						7 193			- 1.2		1 176 20	(, ,	(注2)		回数 回	数回	数回数	数 回数	女 回数	実績高	(7)	Α	3×A	(1)	1//	В	1×B	(7)	(1)	(ウ)	(I)	新士(才)	(カ)	I+才+力)×2	С	5×C	古木干奶	D	1×D		_
	12345	〇〇建設(株)	口口市	0	0	0	0	©	©	0 (	0	0	0	100	50	20	60	5 5	0 10	0 7,000,	000	20	60	5,000,000	71	20	20	50	10	60	10	10	2	434	25	125	30	25	25	230	
											注1)	橋梁の◎	は橋長50	Om以上の	の要件を満	たす業績	者													※ 総合	导点が同.	点の者に	は, 有資格	各数の「(ア	)×5+( <b>1</b> +	ウ+エ+オ+カ	ı)×2」の欄	の点数が多	い者から	並べてある。	5

橋梁の〇は橋長20m以上50m未満の要件を満たす業者

位切り捨て

注2) 港湾漁港構造物の◎は波浪推算を伴う設計の要件を満たす業者 港湾漁港構造物の〇は波浪推算を伴わない設計の要件を満たす業者 100億~ 30 点

年間平均実績高 75億~100億 25 点 50億~ 75億 20 点 20億~ 50億 15 点 5億~ 20億 10 点 ~ 5億 5 点 自己資本額数值 100以上 50以上 50未満

有資格者数值 500~ 30 点 250~500 25 点 100~250 20 点 50~100 15 点 ~50 10 点

30 点 25~35 25 点 15~25 20 点 5~15 15 点 ~5 10 点

## 地質調査コンサルタント選定表記載例

◆令和X年度地質調査業コンサルタント選定表

			県内	従 ,	배士	令和	令和	令和								i	総合点数	((合計)	$=3\times A+$	-В+5×		(満点は	300点)								
油来	許可	商品名称	営業所 登録	業	型 9 X	−3年度	X-2年度	X-1年度		<b>平均実績高</b>	5		自己資本額								有資								営業年	1 221	
连钳	番号	商号名称	所在地   営業	員	半緒 指	名 落札	指名 落札	指名 落札	金額(ア)		総合点	金額(イ)	<b>1/</b> ፖ	点数			技術士		RCC		一級さく井	地すべり防止	┧地質情報	地質調査	(ウ+エ+オ) × 5	点数	総合点	営業	点数	総合点 合計	順位
			所	数   <sup>2</sup>		数 回数	回数回数	回数 回数	(千円)	Α	3 × A	(千円)	× 100	В	1×B	地質(ウ) ±	質基礎(エ) 約	验技監(才)	地質(力) ±	.質基礎(キ)	技能士(ケ)	工事士(コ)	管理士(ク)	技士(サ)	Σ(ħ~サ) × 2	С	5×C	年数	D	1×D	
県	内業者	Ť	<b>%</b> 1		<b></b> 2																										
1	12345	(株)〇〇調査	ロロ市 〇	46	0	50 10	80 20	100 40	250,000	25	75	500,000	200	30	30	3	2	3	1	0	2	5	5	4	74	25	125	40	25	25 255	
						· ·		·	· ·	· ·		· ·	•			2	上が回よ	のサル	七次妆字	米h (カ [ /マ)	マモ / / 1 占 :	T . + . + . >	101の棚の	上米ルバター、	老かさせべ	アセス					

年間平均実績高

自己資本額数值 100以上 30 点 ※ 総合得点が同点の者は、有資格者数の「(ア)×5+(イ+ウ+エ+オ+カ)×2」の欄の点数が多い者から並べてある。 有資格者数値 100~ 30点 50~100 25 点 15~ 50 20 点

		県内  従	£ 444-±	令和	令和	令和		総合点数(合計)=3×A+B+5×C+D (満点は300点)																					
海来 許	·可 商号名称	営業所 登録 業	き 一心り	X−3年度	年度 X-2年度	X-1年度	年間平均実績高		盲	自己資本額		有資格者数								営業年数		年数							
建	号	│ 所在地 │営業 │ 員	宝舗	指名 │落札	指名   落札	指名 落札	金額(ア)	点数	総合点	金額(イ)	1/7	点数	総合点	点 技術士			RCCM		級さく井 坩	地すべり防止 <sup>†</sup>	地質情報 :	地質調査(	(ウ+エ+オ) × 5	点数	総合点	営業	点数	総合点合	計 順位
		所数	大人	回数 回数	回数回数	回数回数	(千円)	Α	3 × A	(千円)	× 100	В	1×B	地質(ウ) ±	質基礎(I) 総	対監(オ) 地	質(力) 土質基	基礎(キ) 技	能士(ケ)	工事士(コ)	管理士(ク)	技士(サ)	Σ(カ~サ) × 2	C	5×C	年数	D	1×D	
県外業者																													
	345 〇〇調査(株)	□□市 O 2	00 0	20 4	30 10	20 5	1,000,000	10	30	950,000	95	20	20	20	10	10	5	2	0	10	30	50	394	25	125	30	25	25 2	200

※ 総合得点が同点の者は、有資格者数の「( $\dot{\eta}$ + $\mathbf{I}$ + $\dot{\eta}$ )×5+ $\Sigma$ ( $\dot{\eta}$ ~ $\mathbf{I}$ )×2」の欄の点数が多い者から並べてある。

年間平均実績高												
30 点												
25 点												
20 点												
15 点												
10 点												
5 点												
	30 点 25 点 20 点 15 点											

自己資本額数值 100以上 30 20 50以上 50未満

有資格者数	汝値		営業年数	t
500~	30	点	35~	30 点
250~500	25	点	25~35	25 点
100~250	20	点	15~25	20 点
50~100	15	点	5 <b>~</b> 15	15 点
~50	10	点	<b>~</b> 5	10 点

- ※1:県内登録営業所の〇印は、国土交通省の地質調査業者登録規定に基づく登録営業所を県内に有するもの
- ※2:地すべり実績に〇印がある業者は、地すべりの調査・設計業務が可能なもの
  - なお、地すべり対策事業の全体計画策定や地すべり機構の解析を踏まえた観測位置の決定など、特に高度な技術力を要する場合は、事業主務課と協議すること。